

研究課題：「超低出生体重児および極低出生体重児に対する多職種による家族支援プログラム」に関する研究について」

1. 研究の目的

NICU や GCU に入院されているお子さんのご家族におかれては、赤ちゃんの状態や今後の育児に不安を抱かれることも多いかと思います。入院中はお子さんとお過ごせる時間が限られるため、どのように関わればよいのか、退院後の生活をどのように整えればよいのかといった戸惑いが生じやすい状況です。

本研究では、多職種（医師、看護師、音楽療法士、臨床心理士、理学療法士）による支援チームが、ご家族とお子さんの関わりをサポートする「家族支援プログラム」を実施し、その効果を検討します。育児に対する不安の軽減やご家族の育児参加が促されること、さらにはお子さんの心身の健やかな成長発達につながることを目的としています。入院中から退院後までを見通した支援を充実させることで今後のご家族へのより良い支援のあり方につなげていくことを目指しています

2. 研究の方法

2022 年 4 月 1 日～2028 年 3 月 31 日までの間に当センター新生児病棟に入院された患者様のうち、本研究の同意が得られたお子さんにご家族が対象です。

- 1) 本プログラム前後における親の育児不安の傾向や子どもの反応に対する気づきの変化を分析する。
- 2) 本プログラム内容と発育発達の関連を統計学的に分析する。

研究期間

2022 年 4 月 1 日から 2031 年 3 月 31 日まで

3. 研究に用いる資料・情報の種類

2022 年 4 月 1 日～2031 年 3 月 31 日までの間に新生児科内で行った家族支援プログラムに関する会議録、診療録、質問紙、修正 1 歳 6 ヶ月と修正 3 歳の超・極低出生体重児フォローアップ外来（つくしんぼ外来）での発達評価（新版 K 式発達検査）の記録を調べまとめます。

診療録、質問紙、発達評価の内容は、個人情報を含まない情報が含まれます。

4. 外部への資料・情報の提供、研究成果の公表

この研究で得られた結果は、医学雑誌などに公表されることがありますが、患者様の名前など個人情報是一切分らないようにしますので、プライバシーは守られます。また、この研究で得られたデータが本研究の目的以外に使用されることはありません。

5. 研究組織

研究機関：地方独立行政法人埼玉県立病院機構 埼玉県立小児医療センター

研究責任者：新生児科	副部長	菅野雅美
研究分担者：保健発達部	副技師長	碓井 愛
保健発達部	副技師長	金澤 郁恵
保健発達部	副技師長	黒田 舞
新生児科		江口 理絵子
看護部	看護師	中川 和美
看護部	看護師	鷺海 とも子

6. お問い合わせ先・研究への参加を希望しない場合の連絡先

研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。また、資料・情報が当該研究に用いられることについて患者様もしくは患者様の代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、2028年3月31日までに下記の連絡先へお申出ください。その場合でも患者様に不利益が生じることはありません。

地方独立行政法人埼玉県立病院機構
埼玉県立小児医療センター
医事担当（代表 048-601-2200）